

広報 南日本

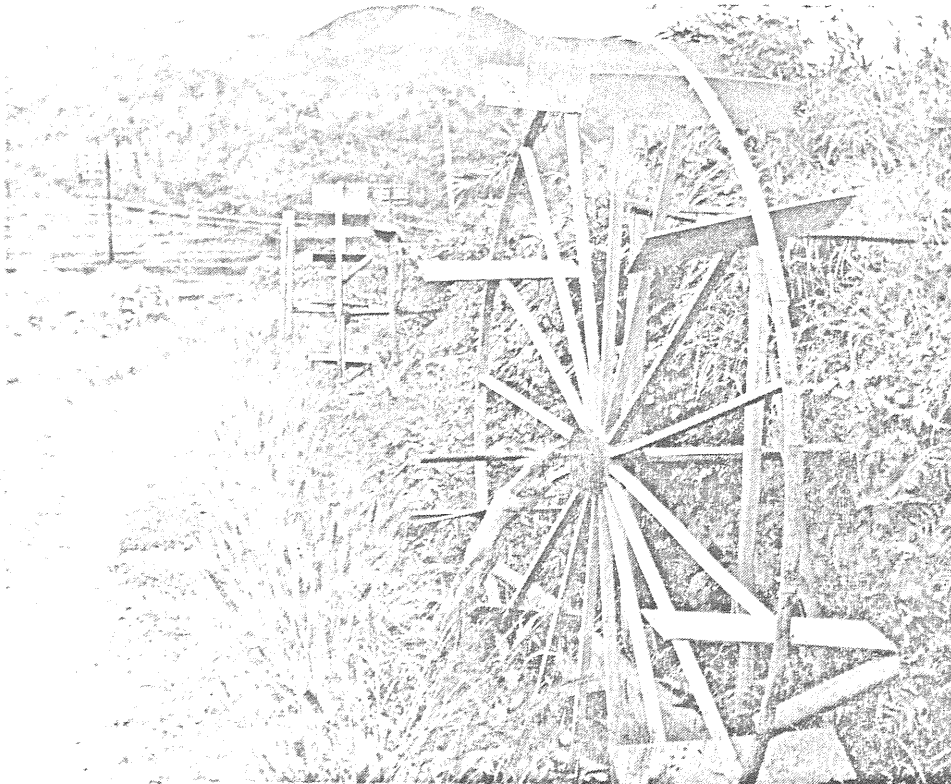
第 77 号

昭和41年5月31日

編集発行
南国市広報委員会

事務所
高知県南国市役所内
(電 2111)

印刷 川北印刷株式会社
(電 3151・有線155-11)



まだ

原始的カン水

- ◇ カン水は水路が発達している市の南部方面では、田んぼに入れる水
- ◇ はポンプで供給することができますが、北部には写真のような給水
- ◇ 装置がまだ残っています
- ◇ 水路より一段と高い山頂から突き出たトイに、水路の水を水車の羽
- ◇ 根で気長く汲み上げるものです。水車は流れの力が当たるため自然に
- ◇ 回転しますが、農業近代化の音がやかましいときだけに、わびしく感
- ◇ じられます。(宋崎で)

をすすり合った。また徳川時代にはよくあったお家そうとうに付きものの連判状には血判をついたものだ。人間の体内には四し五割の血液がある。この血液が約半分位になると輸血の必要がある。この血液が最益益々不足している、それは手術の回数が激増してきたためである。だが考えてみると日本には一億の人間がいるから皆がこの問題を真剣に考えれば簡単に解決するはずである。昔から「血で血を洗う」という諺がある。実は朝鮮事変、またベトナムの内戦など、同志うちのことである。地球外から見れば人間と人間の戦は血で血を洗っている。血は智恵である。中にならぬとい



古来特別の関係を結ぶ場合、例えば他人同志が血をすすり合って義兄弟となった。またやぐさが親分子分の関係を結ぶ場合血

5月の人口

＝4月の異動＝

出生	22	死亡	29
転入	545	転出	288
4月末の人口	42,595		
世帯数	4		
4月末	11,445		